

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	実習	4	2	セラミック	必修	セラミック実習 日本セラミック協会

### 1. 学習の到達目標

セラミックに関する各分野の基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	セラミックに関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている。	セラミックに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的、基本的な知識と技術を基に技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	セラミックに関する基礎的、基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	セラミックに関する基礎的、基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、作品・課題、レポートなどの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。			

### 3. 教科からのメッセージ

2年生の実習では釉薬調合、素地調合、圧力鋳込み成形、石膏型制作、ろくろ成形など陶磁器制作に関する技術の基礎的な学習を行います。

学 期	月	学習項目 (単元・考査等)	主 な 学 習 内 容
1 ～ 3 学 期	各 月	<p>釉薬調合</p> <p>石膏型による陶磁器成形</p> <p>ろくろ成形</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圧力鑄込みによるテストピースの試作</li> <li>・ <math>Al_2O_3-SiO_2</math> ダイアグラムを用いた釉調合試験</li> <li>・ 石灰釉、灰釉、長石釉などの調合試験</li> <li>・ ゼーゲル式から調合計算</li> <li>・ 色釉薬試験</li>   <li>・ 成形品のデザイン考案</li> <li>・ 原型制作</li> <li>・ 石膏型の制作（下型）</li> <li>・ 石膏型の制作（上型）</li> <li>・ 素地成形、仕上げ</li> <li>・ 素焼き</li> <li>・ 釉薬掛け</li> <li>・ 本焼き</li> <li>・ 講評、合評会</li>   <li>・ ロクロ成形の基本的な技術、芯だしの学習</li> <li>・ 基本的な成形の学習</li> <li>・ 成形物の基本的な仕上げの学習</li> <li>・ 成形物の焼成に至るまでの学習</li> <li>・ 講評、合評会</li> </ul>

年間を通じて3パートで交代していきます。